

海岸地域の活性化の取り組みについて

問 ブルーフラッグを取得する際の認証基準について伺います。

答 経済環境部長 ①環境教育②水質③環境マネジメント④安全とサービスの、33項目の認証基準があります。内容は、子ども達への環境教育、年6回以上の水質検査の実施、ビーチに関連する規制の遵守、ライフセーバーの設置や障害者向けのアクセス改善等です。

問 取得のスケジュールについて伺います。

答 経済環境部長 2019年夏の海水浴シーズンに向けて、10月に認証申請を行いました。12月に認定海水浴場リスク評価審査会、1月に国内での審査、4月に国際審査を受け、5月に県内初の認証を目指しています。

問 最短で、平成31年5月に取得予定で間違いはないか伺います。

答 経済環境部長 ゴールデンウィーク前に国際審査があり、その後に結果が出ると聞いています。

問 申請取得に係る費用について伺います。

答 経済環境部長 事務経費として、審査手数料、水質検査費用、海水浴場リスク評価等で、約160万円です。ハード面では、看板の設置、水陸両用の車椅子の購入、車椅子の方がビーチまでアクセスできるウッドロードの整備等で、約590万円です。

問 先進地での、認証取得後の効果について伺います。

答 経済環境部長 福井県高浜町若狭和田ビーチでは、取得後3年が経過していますが、海を大切にする町民も増え、ごみの放置が減少し、マナーの向上につながったほか、家族連れや外国人の観光客が増えたそうです。鎌倉市の由比ガ浜海水浴場では、障害者の方々の海の家の利用が増え、事業者や住民の海に対する意識向上につながったと聞いています。

問 ブルーフラッグを取得すること、どのような効果を期待しているか伺います。

答 市長 持続可能な社会の構築に向けて、海水浴場の環境保全、環境教育を推進するためのツールだと考えています。海水浴場の利用者数は減少

傾向にあり、海水浴場関係者や地域の方々が緊密に連携し、環境の保全に共通理解を持つことで、地域を巻き込んだまちづくりにつながればと思います。市内の海水浴場をアピールすることが、地域の振興につながるものと考えます。

圏央道について

問 圏央道の、大柴ジャンクションから松尾横芝インターチェンジ間について、2024年度に開通するという報道がありました。その後変更はないか伺います。

答 都市建設部長 国土交通省が、用地取得が順調であれば、2024年度に開通する見込みであると発表した報道に、現時点では変更はないと思います。また、県では圏央道の早期開通に向け、国・県及び沿線市町等の連携・協力体制を強化し、事業の推進を図ると聞いています。

問 パーキングエリア(PA)の誘致に係る東日本高速道路(株)への要望活動について伺います。

答 都市建設部長 県及び関係各所と連携し、実施に向けた情報交換等を進めています。

問 PAの候補地について伺います。

答 都市建設部長 東日本高速道路(株)で検討されるものと考え、要望活動を強化して行きます。



松尾横芝インターチェンジ

問 地元産品を扱う飲食店や、土産店の設置を要望してはどうですか。

答 都市建設部長 交通の動向や利用状況等を踏まえ、施設規模や内容等が計画されます。採算が採れない店舗等は撤退する一方、交通量が多い箇所では施設が充実しています。設置の実現に向けては、事業者による当該用地取得が必要であり、市としても情報の共有等、協力していきたいと思っています。

問 周辺の利便性向上のため、PAにスマートインターチェンジの設置をお願いしてはどうですか。

答 都市建設部長 市の負担で設置することになるため、周辺地区の利便性の向上及び土地利用の推進にあたって、今後十分検討したいと思っています。

問 副市長の見解を伺います。

答 副市長 PAの設置は、施設間の距離や、経済性、立地環境、事業の成立性が重要だということです。積極的に関係機関に要望していきたいと思っています。



平成会 櫻田基介 議員